

本日のおもちかえり
2018年3月11日

1) なぜ今日、私達は価値観、道徳や倫理について語ったり、それを勧めたりすることは難しいのですか。あなたは何を基準にして善悪を見極めていますか。あなたは何を土台として生きていますか。「めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた」(士師21章25節)という世界が行きつくところはどんな世界でしょうか。

2) ローマ12章1節-2節を読みましょう。この言葉が「パウロの個人的な勧め」ではなくて「神のあわれみによる勧め」(1)であるところにはどんな意味がありますか。

3) Iテモテ1章13節-16節を読みましょう。パウロはなぜここで二度、「私はあわれみをこうむった」と書いているのですか、彼が受けた「神のあわれみ」とは何ですか。パウロはかつてどんな生き方をしていましたか。

4) あなたの寛容には限界がありますか。「限りない寛容」という言葉から私達は神様の私達に対するどんなお心を知りますか。

5) 「アメイジング・グレイス」の作者であるジョン・ニュートンの人生についてあなたは何を感じましたか。彼はなぜ神の驚くばかりの恵みについて賛美しているのでしょうか。「神の恵み」とは何ですか。なぜ彼はその神の恵みを驚いているのですか。

6) イエス・キリストは「丈夫な人に医者はいらない。私が来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マタイ9章12節、13節)と言われました。この言葉は何を意味していますか。神の前に心の丈夫な人、正しい人はいますか?なぜ神は罪人を招くことにこだわったのでしょうか。

7) エペソ2章1節-10節を読みましょう。あらためてあなたにとって神のあわれみと恵みとは何ですか。